

新潟県
NIIGATA
PTA
No.100 2016.2.5

発行 新潟県小中学校PTA連合会
編集 広報委員会
〒950-0965
新潟市中央区新光町7番地2 新潟県商工会館5階
URL <http://www.ngtknpta.jp>
Mail ngtknpta@coral.ocn.ne.jp



第55回

**新潟県小中学校
PTA研究大会胎内大会**



胎内市PTA連絡協議会（以下胎内市P連）は、この度の研究大会に向けて、一年半の時間をかけて準備をしてきました。胎内市には一つの小学校と、四つの中学校があります。それぞれの学校のPTA会長と教頭先生で構成される実行委員会を中心に計画を進めてきました。中学校区ごとに①実践発表②アトラクション・会場③講演会・庶務④要綱・報告書と役割分担を決め、それぞれが独自に準備を進め、それを定期的に実行委員会を確認しました。特に最後の二ヶ月は、月に三回ぐら

顔を合わせる機会を持ち、様々な調整をしてきました。

当日は、胎内市の七〇〇名を収容できる産業文化会館の多目的ホールがいっぱいになりました。県内各地より多くの方に足を運んでいただき、本当にうれしく思いました。講演会は、遠く大阪から木下晴弘様をお招きし「目からウロコの子育て成功法」と題した講演を行っていただきました。感動を与えることが内発的モチベーションを高めるとのお話に、会場全員が引き込まれたようでした。日々感動をプロデュースしているだけあって、この度の講演会自体も来場者を感動で包むような構成になっており、司会者が涙でうまく話せなくなるようなハプニングもありました。本当に素晴らしい講演会でした。また、運営なども「良かった」との声を多くいただきました。胎内市の仲間と共に計画してきた研究大会がこのように評価されたことも、喜ばしいことであると思っています。

は、それぞれの思いがぶつかり合うこともありました。開催が近づくにつれ、高揚感が増すと同時に焦りも高まっていききました。しかし、そのような経験があったからこそプロジェクトを成功へと導くことができたのだと思います。当日は、各学校のPTA役員にも駆けつけてもらい、総勢六〇名のスタッフでの実施となりました。この研究大会は胎内市PTAの総力を結集して実施したものです。県P連研究大会が再び胎内市で開催される日は、何年後になるかわかりませんが、このプロジェクトに関わることができた幸運を感じています。胎内市P連としても、団結力が高まり、レベルアップできた年であったと思います。

今回の胎内市P連の活動紹介は、皆様の参考になったでしょうか？PTA活動のヒントになれば、こんなうれしいことはありません。

(理事 佐藤 陽志)

胎内大会を開催して

副会長 平石 祥吉

九月二十六日（土）胎内市産業文化会館で開催されました。大会主題は、「家庭 地域 学校が一体となった未来づくり」子どもたちが大人になっても誇れる地域を目指して〜でした。

目次 contents	平成27年度県P 胎内大会報告 1
	副会長お礼の挨拶 1
	各地のPTA活動2~ 4
	関プロ大会について 研修会について・感想 5
	100号記念記事 編集後記 5
	小・中学生総合補償制度	... 6

オーブニングは、地元小学校・中学校の合同演奏の力強い演奏から始まり、その後開会式、県PTA表彰式と進行していききました。

実践発表では胎内市の各地域の特色あるPTA活動などが紹介され、素晴らしい環境の中で子どもたちが育っていることを実感できたのではないかと思います。

最後の講演会では、「目からウロコの子育て成功法」として木下晴弘様よりご講演いただきました。多くのPTAが子育てに何かしら悩みを抱えている中、多くの気づきと感動をいただきました。

素晴らしいこの県P研究大会を企画・運営していただきました今井会長をはじめとする胎内市PTA連絡協議会様に感謝を申し上げ、来年の魚沼大会に更新る期待をしたいと思います。

県P連研修

関ブロックPTA研究大会

横浜大会に参加して

副会長 齊藤 知之

十月二十四日(土)、横浜市教育会館ホールにおいて、第四分科会「体・健やかな体」が開催されました。基調講演ではメンタルトレーニングコーチの大儀見浩介様から「メンタルトレーニングでポジティブライフ」についてご講演をいただきました。やる気を起こす動機づけ、高すぎる目標より現実的な目標について分かりやすく、納得するお話をしていただきました。途中で「ミッキーマウスを描いてください」と言われ、会場の参加者全員が真剣に描き上げた物と現実のギャップが大きいことに、笑いと子どもにも具体性のない間違っただ目標を与えていることを認識させられました。



翌二十五日(日)、パシフィコ横浜(国立大ホール)において、全体大会が開催されました。記念講演として私の年代ではアイドルの菊池桃子様から「いつも前を向いて自分さがし〜キャリア形成論で親が目覚めること〜」という演題でお話をお聞きしました。お子さんに障害がある子、障子がある子の教育環境、職場環境が少ないことなどの体験談を話されました。子どもの個性を伸ばすには将来の夢について我々親が実体験を伝え

なければいけないことを再認識しました。

子どもの生きる力、「知・徳・体・公・開」と六分科会もあり、どの分科会も再認識を実感できる会でした。

ネットいじめ・トラブルから子どもを守るために私たちができること

教育問題委員会

委員長 若月 正和

今年度の教育問題委員会では、昨年引き続き「携帯電話・スマホ」による問題を深掘することです。子どもを守りたい、ネットの依存にならないようにするにはなど、委員間で議論を重ねるうちに、重要なことに気づいたのです。それは、子どもに指導しなければならぬ立場である我々保護者自身のネットに対する認識、スキルに大きな差があったことです。この現実を踏まえ、ネットに対する知識を共有すべく、十一月七日(土)、「アオーレ長岡」で開催した研修会では、ネットいじめ・トラブル問題に精通した「全国WEBカウセリング協議会」新潟支部事務局長の橋尾優介様をお招きし、講演をしていただきました。

講演では、SNSに簡単に写真をアップすることの恐さ、今までに起こったいじめ問題などを学び、ネットの恐さ、ネットが子どもたちに与える影響を知ることができました。また、講演後グループ討議で、それぞれが実体験で得たネットトラブルなどをグループごとに協議し、参加された皆さんが、ネットから起こり得るトラブルに対しての最低限の知識を身に付けることができたと感じました。最後に、今回の研修会で得た知識、情報を、それが個々の地域のPTAに広く伝えていただき、「ゼロ」の環境を目指し、子どもたちが明るく元気に育つことのできる地域社会になることを期待しております。

教育問題研修会に参加して

副会長 今井 千尋



携帯、スマホを発達とするトラブルから子どもを守るには？PTAで集まりがあると必ずと言っていいほど話題に上ります。講演会などで勉強をさせていただくのですが、深刻な問題として実際にさける手段についてはなかなかお聞きすることができませんでした。

今回の研修会では依存症の具体例や親の対応方法を教えていただきました。特に「ルールより情報教育」というお話には納得です。道具でしかないものなのだから、よく知り、賢く使いこなすスマホとさが親にも子にも必要です。とはいえ次々現れる機種やシステムにはついていけないものです。まずはどう向き合おうかを考えるところからです。

広報紙100号特集 ～県P連のあゆみ概略～

昭和22年	新潟県の学校ごとにPTAの結成が進む (25年頃まで)
昭和24年	社会教育法公布 PTAを社会教育団体として位置づける。
昭和27年	新潟県小中学校PTA連合会が発足
昭和36年9月15日・16日	第9回全国PTA大会新潟大会開催 ～子ども達のしあわせを守るためにPTAはどのように活動したらよいか～ 記念講演：嶺山政道氏
昭和53年	新潟県PTA安全会を設立 保険会社に全面委託し、PTA活動の事故の補償を開始
昭和55年9月27日・28日	第12回関東ブロックPTA研究大会を新潟市で開催 ～明日への活動を求めて(現状の認識と改善)～ 記念講演：ドクトル・チエコ氏
平成4年10月8日・9日	第24回日本PTA関東ブロック新潟大会開催 ～育てよう21世紀に生きる子どもたち～ 記念講演：ダニエル・カール氏 「県P連マーク」の決定 (滝沢信行氏制作) ※下記にマークの意味を掲載
平成4年	広報紙50号発行
平成6年7月20日	全単位PTA会長研修会実施
平成13年	学校週五日制完全移行に伴い、PTA活動の拡充が期待された。
平成14年	新潟県PTA広報紙コンクール開始 (第1回)
平成15年	新潟県PTA安全互助会を設立
平成16年	共済事業「新潟県PTA安全互助会見舞金制度」を開始
平成16年10月15日・16日	第36回日本PTA関東ブロック新潟大会開催 ～育てよう愛ある子ども夢ある子ども～ 記念講演：相田一人氏
平成17年	郡市研究推進事業助成開始 (家庭教育の振興)
平成18年8月8日	県知事との懇談会～新潟県庁 会長含め7名出席～
平成23年	一般社団法人新潟PTA安全互助会を設立 翌24年より、PTA等共済法に基づく共済事業開始
平成25年	新潟市小中学校PTA連合会が独立し、新潟県P連は22郡市P連で構成
平成30年	日本PTA研究大会新潟大会・関東ブロックPTA研究大会新潟大会開催 (予定)



日本海時代を迎えて、国際的にも大きく期待される新潟。そんな新潟を象徴する日本海の力強い波と、輝く夕日をデザインしたものです。時代の大きなうねりの中で、明日へ輝く大きな希望を表しています。

◆編集後記◆

本年度は広報委員としてこのPTA広報紙第一〇〇号の記念発行に携われて感謝しております。記念紙という事もありますが、今年度P連研究大会に参加して、勉強だけでなく、人と人とのつながりを感じる事ができました。ネット中心の社会となりつつある中で、各地区のPTAが集まり、顔を合わせながら交流することは、今後子どもを育てる時、支えとなり、必ず役に立つと思えます。この広報紙を読み、一人でも多くの方がPTA活動に興味を持っていただければ幸いです。

(広報委員 金子 基洋)

小中学生が加害者となる賠償事故が増えています!! 特に自転車の事故は高額になりがちです。

神戸地裁は、「事故当時小学5年生の児童が、自転車で走行中に前方不注意により、歩行中の女性にぶつかり意識が戻らない状態にさせた事故」による損害賠償金として、児童の母親に、約9,500万円の支払いを命じる判決を言い渡しました。(25.7.4 判決)

<賠償事故の例です>

※加入したお子様と同居の家族も対象になります。



ガラスを割った



車にキズをつけた



自転車で交通事故を起こした

<自転車での傷害事故も増えています>

※加入したお子様本人のみが対象です。



保険金支払件数：1,036件
保険金支払総額：30,251,105円
(26年度 新潟県実績)

年間掛金
3,000円から
月あたり
250円から

平成27年度

団体割引適用・健康相談サービス無料付帯

小・中学生総合補償制度

保険料は
他別で加入する
場合に比べて
51%削減

安心生活総合補償特約付帯普通傷害保険+医療保険(1年契約用)
(P5-M5-H)
普通傷害保険
(B-Cプラン)

- ケガをした
- ケガをさせた
- 病気で入院した (P5-M5プラン)

元氣すぎて心配、
病氣も心配、の
親心を支えます。



学校内外問わず
お子さまの24時間[※]を補償します。

新潟県小中学校PTA
連合会はこのような場
合に備え、「小・中学
生総合補償制度」への
加入をお奨めいたしま
す。

(注) 上記の割引率(約51%)は、この制度の被保険者数と保険金のお支払い状況によっては、今後変更となる場合があります。

詳しくは、4月に学校より配布される資料(パンフレット)をご覧ください。

団体保険契約者：(一社)新潟県PTA安全互助会 連絡先：025-280-0456
(幹事引受保険会社) (非幹事引受保険会社)
(株)共栄火災海上保険 (株)東京海上日動火災保険 (株)三井住友海上火災保険
(株)損害保険ジャパン日本興亜 (株)A I U損害保険
(幹事引受代理店)(有)新潟コーリン (非幹事引受代理店)(株)あんしん21